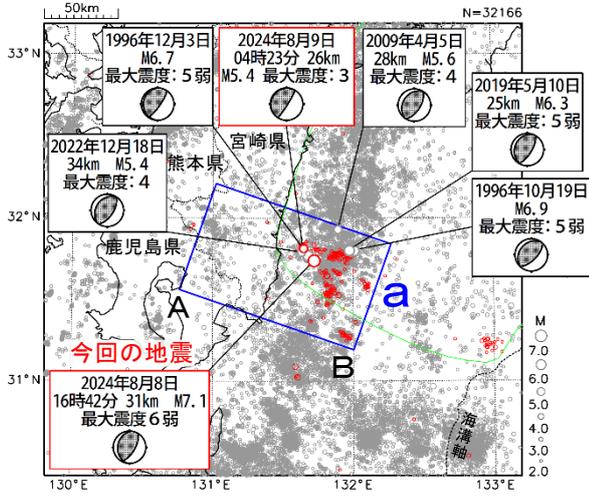


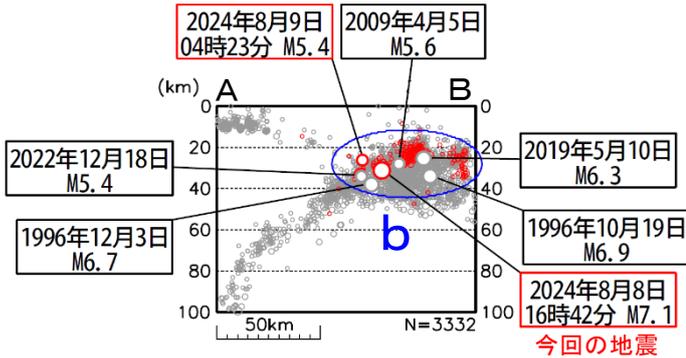
# 8月8日 日向灘の地震

震央分布図  
 (1994年10月1日～2024年8月22日12時00分、  
 深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ )  
 2024年8月8日以降の地震を赤色で表示、  
 速報値を含む、図中の発震機構はCMT解

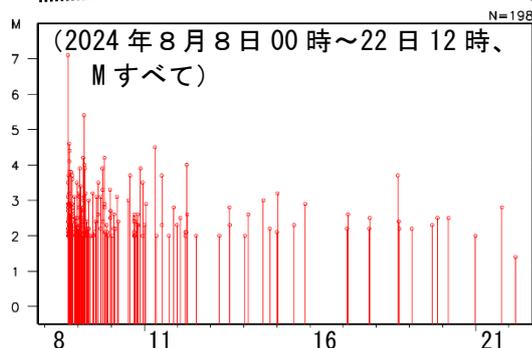
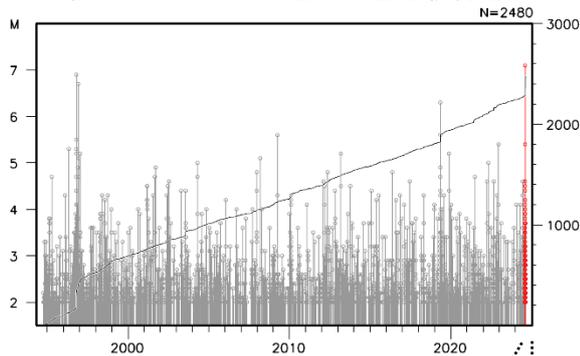


緑色の線は南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



2024年8月8日16時42分に日向灘の深さ31kmでM7.1の地震 (最大震度6弱) が発生し、宮崎県日南市で震度6弱を観測したほか、東海地方から奄美群島にかけて震度5強～1を観測した。また、宮崎県南部山沿いで長周期地震動階級3を観測したほか、鳥取県西部及び九州・奄美地方で長周期地震動階級2～1を観測した。気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から5.7秒後の16時43分09.4秒に緊急地震速報 (警報) を発表した。また、気象庁は、この地震に伴い、16時44分に高知県及び宮崎県に津波注意報を発表した。その後、16時52分に愛媛県宇和海沿岸、大分県豊後水道沿岸、鹿児島県東部及び種子島・屋久島地方にも津波注意報を発表した (同日22時00分に解除)。この地震により、宮崎港 (※) で0.5m (速報値) の津波を観測するなど、和歌山県から種子島にかけて津波を観測した。この地震の発生に伴って、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられたことから、8日19時15分に南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意) を発表した。

この地震は、発震機構 (CMT 解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

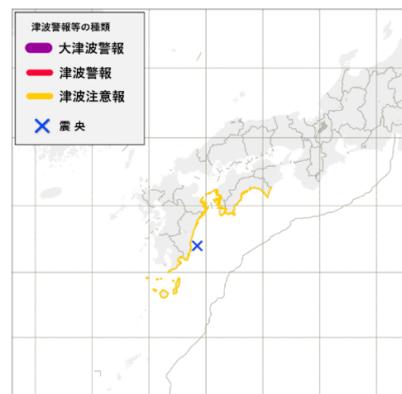
今回の地震の発生以降、9日04時23分にM5.4の地震 (最大震度3) が発生するなど、22日12時までに震度1以上を観測した地震が24回 (震度6弱: 1回、震度3: 2回、震度2: 5回、震度1: 16回) 発生した。

今回の地震により、重傷3人、軽傷13人、住家全壊1棟、半壊2棟などの被害が生じた (2024年8月15日19時30分現在、総務省消防庁による)。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0以上の地震が時々発生している。1996年10月19日に発生したM6.9の地震 (最大震度5弱) では、高知県の室戸市室戸岬及び土佐清水で14cm、宮崎県の日南市油津及び鹿児島県の種子島田之脇で9cmの津波を、同年12月3日に発生したM6.7の地震 (最大震度5弱) では、宮崎県の日南市油津及び高知県の土佐清水で12cmの津波を観測した (平常潮位からの最大の高さ)。

(※) 国土交通省港湾局の観測施設

## 2024年8月8日16時42分の日向灘の地震 (M7.1) に対して発表した津波注意報



気象庁作成